

- 1 報告地区：函館地区
- 2 事例報告学校名：函館市立鍛神小学校
- 3 報告者：校長 新山 亨
- 4 キーワード：「地域の教育力を生かした特色ある教育活動」

1 はじめに

本校は、ペリー来航による箱館開港のおよそ20年後、明治13年に創立され、今年で137年を迎える歴史と伝統のある学校である。武士の時代の終わりを告げる箱館戦争の舞台となった日本で初めての西洋式城郭「五稜郭」と羽を広げた蝶の形のような「四稜郭」の中間に位置している。

教育目標を「かんがえる子 やさしい子 げんきな子」とし、鍛神小学校の子どもたちは、それぞれの最初の文字をとった「かやげの子」を合い言葉に、毎日の学校生活を送っている。

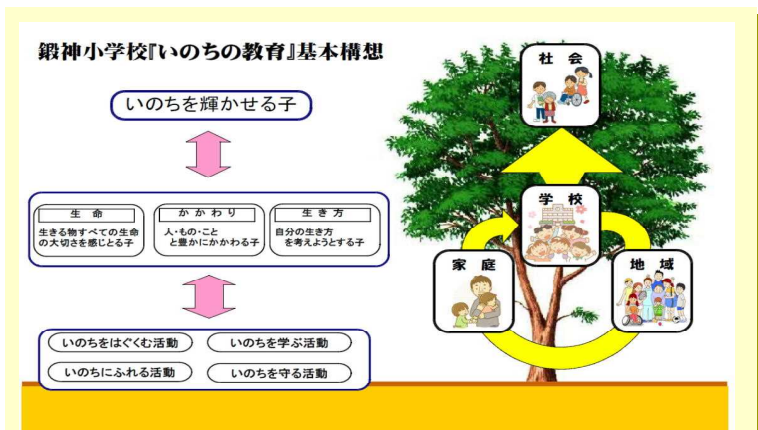
2 「いのちの教育」と地域連携

本校は平成19年度より重点教育活動の一つとして「いのち」の教育に取り組んでいる。

- ①「いのち」にかかわらせる活動を充実させながら、「いのち」の大切さを認識させるとともに、「自己の生き方」について考えさせる。
- ②全教育活動を通して「生きる力」をはぐくむことができるよう、「いのち」にかかわる学習を各教科等と関連付けて展開する。

の2点をねらいとし、全教育活動を通じ、自然・友だち・社会とのかかわりを通して、「いのちを育み いのちに学び いのちにふれあい いのちを守る」子どもたちを育てている。各教科でのいのちとのかかわりを意識した学習、異学年交流等、校内を主な学習の場として行う活動と身近な地域社会とのふれあいの中でのいのちのかかわりを学ぶ活動にも力を入れている。

本年度より本校では、コミュニティー・スクールを導入しており、地域とともにある学校の推進の重要な柱として「いのちの教育」の取組の充実・改善に努めている。



いのちを輝かせる子〔目指す子供像〕

- 〔生命〕 生きるものすべての生命の大切さを感じることができる子
- 〔かかわり〕 人・もの・ことと心豊かにかかわることができる子
- 〔生き方〕 自分のよさを感じ、自分の生き方を考えようとする子

	視点	学習活動
いのちをはぐくむ	生命 かかわり	○生き物を育てる活動の中で、生命の誕生や成長の喜び、死の悲しみを学ぶ。 〔飼育 栽培 理科〕
いのちを学ぶ	生命	○生命の誕生、成長、病、老い、死について学ぶ。 〔健康教育 食育 サケ溯上見学〕
	生命	○男女の性の違いを知り、互いに尊重し合うことの大切さについて学ぶ。 〔保健 理科 道徳科 特別活動〕
いのちにふれあう	生き方 かかわり	○生命を大切に生きてきた様々な人の生き方を学ぶ。 〔道徳科 読書 職業体験 いのちの講話〕
	かかわり 生き方	○自分の役割を考え、人の役に立つ喜びを味わい、他者とのかかわりを学ぶ。 〔集会活動 園児との交流 福祉〕
いのちを守る	生命 かかわり	○自分や他者の命を守る活動をとおして、生活のきまりを守る大切さを学ぶ。 〔安全教育 特別活動 生活のきまり〕

3 地域の教育力を活かして（抜粋）



2年生活科「ドキドキわくわくまちたんけん」

自分たちの住むまちを探検しながら、いろいろなことを見たり、社会の中で働く人々（いのち）とかかわったりすることを目的とし、地域のいろいろな施設を質問を携えながら、4～5人グループで訪ね歩きます。緊張気味の2年生ですが、笑顔で接してくれる各施設の方々に地域の温かさや優しさを体感できる活動となっています。3年生から始まる社会科の基礎的な学びがここにあり、また、6年生での職業体験の場としても協力していただいています。

4年総合的な学習の時間

「探ろう！ノーマライゼーション」

福祉を学ぶ一環として、校区の地域包括センターとの連携の下、認知症サポート講座で高齢者とのかかわり方や理解をすることの大切さを学び、そこでの学習を基に老人介護施設への訪問を行っています。「この日は、入所している方がとっても笑顔になりますね。」と職員の方の言葉にあるように、学んだことを生かし、相手意識をしっかりとっての高齢者との心の交流となっています。



5年総合的な学習の時間

「見つめよう！誕生と成長」

相互訪問で年2回の交流を行っています。1回目の交流（幼稚園）では、自分が園児だった頃を思い出しながら、遊びを通して交流することで、自分の成長（いのちの成長）に気づき、2回目の交流（小学校）では、園児の顔を思い浮かべながら交流内容を工夫計画し、当日は楽しく小学校の各教科での学びの様子を簡単な体験やゲームを通して紹介し、交流を深めています。また、スタートカリキュラム実施に向けてのレディネス形成にも一役買っています。

4 おわりに

鍛神小学校校区は古く伝統のある地域であり、学校に対する思い入れは強い。放課後子ども教室、子どもの見守り活動、絵本の読語り等、様々な場面で子どもたちをサポートしていただいている。

コミュニティー・スクールが本格的に始まり、地域とともに歩む学校が求められる中、今後も「つながり」を大切にし、活動内容の改善・充実を図ながら、地域の教育力を本校の「いのちの教育」の取組に生かしていきたい。そのことが、地域の命とともに本校児童「かやげの子」の命を光り輝かせていくことにつながると考えている。